

江田島市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和3年度事業対象)

令和4年6月
江田島市教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の結果（8事業）	
	・信頼される学校づくりを推進する	2
	・児童生徒の学力の向上を図る	4
	・児童生徒の豊かな心を育成する	5
	・児童生徒の体力向上を図る	6
	・魅力ある事業づくりを推進する	7
	・健康づくり，体力づくりを推進する	8
	・図書館の充実を図る	9
	・さとうみ科学館の認知度を高める	10
3	外部評価委員の意見	11
4	総合評価	15
5	その他	16
資料1	令和3年度江田島市教育委員会 経営計画	19
資料2	令和3年度江田島市教育委員会 自己評価表	21

1 教育委員会の点検・評価制度の概要

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することを義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、江田島市教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

なお、同法の規定の「教育に関し学識経験を有する者」については、本市では、外部評価委員（3名）とし、教育委員会自らが行った点検・評価の結果に対して、意見をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象年度

令和3年度

(3) 点検・評価の対象事業

教育委員会は、令和2年度末の現状を分析した上で、特に重点を置いて取り組みたい8事業を定め、令和3年度江田島市教育委員会経営計画としてまとめました。

令和3年度に実施したこれら8事業の取組を点検・評価の対象とします。

令和3年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	信頼される学校づくりを推進する。
短期経営目標	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。

1 短期経営目標（具体）

教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。（目標値：懲戒処分件数 0件）

2 取組・方策

<p>○校長会、教頭・事務長会等において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行った。（実施日及び内容は、別紙の通り）</p> <p>また、各校が実施した服務研修の好事例を紹介し、各校の服務研修に生かせるようにした。</p> <p>・9月末までに13回の講話又は講義を実施した。</p> <p>○開かれた学校づくりの推進に係り、各校のHPの充実を中心に指導助言を行った。</p> <p>○5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行った。</p> <p>・以下の2点について取り組み、実施率は100%であった。</p> <p>①管理職は、目標管理に係る業績評価（自己申告）における当初申告の面談時に不祥事根絶に係る指導を行う。</p> <p>②服務研修（校内研修）において、過去に江田島市で生じた懲戒処分事案を扱う。</p> <p>○不十分な教科指導及びテスト未実施・未返却事案判明を受け、教科指導及びテストの実施状況等の総点検を行うよう指示し、不祥事防止を組織的に行えるよう助言した。</p> <p>また、2学期末に各校を訪問し、不祥事防止に向けた取組の進捗状況を確認するとともに、服務規律の徹底に向けて指導助言を行った。</p> <p>○全児童生徒に「体罰」「セクシャル・ハラスメント」のアンケートを実施した。</p> <p>・各校の実施率は100%で、体罰、セクシャル・ハラスメントに該当する事案は生起していない。</p>

3 評価

評価指標	懲戒処分件数
実績値（令和2年度）	0件
目標値（令和3年度）	0件
総合評価	0件

○定めた取組・方策を計画的に実施し、懲戒処分件数は0件であった。しかしながら、不十分な教科指導及びテスト未実施・未返却事案等、懲戒処分に繋がりがねない事案が数件あった。

4 改善策

<p>○校長会、教頭・事務長会において、外部講師を招聘する等「服務規律の確保」に関して講話を行うとともに、服務規律に係る校内研修を充実させ、不祥事防止に向けた取組を強化するとともに、進捗状況を確認していく。</p> <p>○教育課程の確実な実施のための組織体制について、各校の取組状況を把握するとともに、不祥事防止に向けた取組を組織的に行えるよう助言し、進捗状況を踏まえ、必要に応じて学校訪問指導を行う。</p>
--

令和3年度江田島市教育委員会主催研修における服務研修一覧

月	日	曜日	研修名	内容
4	5	月	校長会	服務規律の確保について
	13	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
5	6	木	校長会	服務規律の確保について
	18	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
6	3	木	校長会	服務規律の確保について
	9	水	第1回初任者研修	教職員の服務について
7	1	木	校長会	服務規律の確保について
	13	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
	30	金	臨時校長会	不十分な教科指導及びテスト未実施・未返却事案について
9	3	金	校長会	服務規律の確保について
	14	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
10	5	火	校長会	服務規律の確保について
	13	水	教頭・事務長会	服務規律の確保について
11	2	火	校長会	服務規律の確保について
12	2	木	校長会	服務規律の確保について
	6	月	教頭・事務長会	服務規律の確保について
	23	木	臨時校長会	わいせつ事案について
1	5	水	校長会	服務規律の確保について
	11	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
2	1	火	校長会	服務規律の確保について
	15	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
3	2	水	校長会	服務規律の確保について

令和3年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の学力の向上を図る。
短期経営目標	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

習得した知識・技能を活用する力を向上させる。
 （目標値：江田島市小中学校学力調査を実施した全学年において、平均正答率が全国平均値を上回った学年の数 小学校国語4，小学校算数5，中学校国語1，中学校数学1とする。）

2 取組・方策

- 各校の教務主任及び研究主任を対象に『学びの変革』推進協議会」を実施し、主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善に向けて理論研修を行い、各校の日頃の授業改善に生かせるようにした。また、令和2年度江田島市小中学校学力調査の分析及び改善計画を活用し、学力向上に係る取組が組織的に行われるよう、教務主任に指導・助言を行った。（5月17日）
- 校内研修や教科部会において学力向上に係る取組を把握し、各校の実態に応じた指導助言を行った。
- 校長会において、令和3年度全国学力・学習状況調査の市全体の結果を提示し、課題解決に向けた組織的な取組について指導助言した。（9月5日）
- 各校の研究主任を対象に「第2回『学びの変革』推進協議会」を実施し、算数科の授業実践を通して、主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた協議を行い、自校の実践につなげるよう助言した。
 （9月22日）
- 各校の研究主任を対象に「第3回『学びの変革』推進協議会」を実施し、各校が実践した研究授業の単元構想シートと学習指導案を基に実践交流を行い、本質的な問いによる授業改善を進めるよう助言した。（1月27日）
- 各校の管理職（1名）及び教務主任を対象に、江田島市小中学校学力調査結果説明会を実施した。（2月28日）また、各校に学力調査結果を踏まえた指導方法等の改善計画の作成について通知し、組織的な学力向上の取組に繋げる。

3 評価

評価指標	江田島市小中学校学力調査の平均正答率
実績値（令和2年度）	江田島市小中学校学力調査の平均正答率 全国平均値を上回った学年の数 小学校国語0，小学校算数3，中学校国語0，中学校数学0
目標値（令和3年度）	江田島市小中学校学力調査の平均正答率 全国平均値を上回った学年の数 小学校国語4，小学校算数5，中学校国語1，中学校数学1
総合評価	平均正答率が全国平均を上回った学年数について 小学校（国語2，算数4）中学校（国語1，数学0）
○令和3年度江田島市小中学校学力調査の適切な実施に向けて課題解決の取組を進めた結果、小学校国語は、第4・5学年、算数は第1・4・5・6学年、中学校国語は第2学年において、平均正答率が全国平均正答率を上回った。令和2年度よりも向上の傾向にあるが、中学校国語以外の目標値は達成できなかった。	

4 改善策

- 教務主任研修等において、授業改善に係る研修を計画し、外部講師を招聘する等、基礎学力向上に係る講話・演習・協議を実施することで、基礎学力向上に向けた取組を組織的に行うよう指導を行う。
- 学校訪問時や教科部会の場において学力向上に係る取組状況を把握し、指導助言を行う。
- 児童生徒の学力向上に向け、授業改善と家庭学習の両輪を充実させるため、自己教育力を育成する家庭学習の取組を示し、各校の取組状況の把握と指導助言を行う。（別紙参照）

令和3年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の豊かな心を育成する。
短期経営目標	不登校児童生徒への取組を充実させる。

1 短期経営目標（具体）

不登校児童生徒への取組を充実させる。
 （目標値：不登校児童生徒数の割合 小学校3人，中学校5人以下）

2 取組・方策

- 校長会，教頭・事務長会で，問題行動等生徒指導上の諸問題の発生状況を示すとともに，未然防止の取組について指導した。
- 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら，欠席日数が30日を超える前の段階で，各校の実態に応じた指導助言を行った。
- 生徒指導主事研修を活用し，各学校の生徒指導主事を対象として，本市の生徒指導上の諸問題の現状と課題を踏まえた研修を行うとともに，広島県教育委員会 学びの変革推進部 個別最適な学び担当 不登校支援センターの講師を招聘し，不登校児童生徒等への支援の在り方について研修を行った。（8月5日）
- 9月を「いじめ撲滅月間」とし，重点的な取組を行った。
 - （1）いじめ撲滅に向けた児童会・生徒会を中心とした児童生徒の主体的な活動を実施する。
 - （2）全児童生徒を対象に行った「いじめアンケート」の結果を分析するとともに，必要に応じて，個別面談等を実施する。
 - （3）いじめの未然防止や早期発見に努める。
 - ア いじめは「どの子供にも，どの学校にも起こり得る。」という認識のもと，児童生徒の小さなサインを見逃さず，日頃から児童生徒の状況把握に努め，組織的に対応する。
 - イ 9月は「いじめ撲滅月間」であることを学校便りやホームページ等で保護者や地域の方々に周知し，実施後は各校の取組等を紹介する。
 - ウ 教職員と児童生徒，児童生徒間の共感的な人間関係づくりに努め，児童生徒との絆を深める。

3 評価

評価指標	不登校児童生徒数の割合
実績値（令和2年度）	不登校児童生徒数の割合 小学校0.69%，中学校3.33%
目標値（令和3年度）	不登校児童生徒数の割合 小学校0.42%，中学校1.28%以下
総合評価	不登校児童生徒数の割合 小学校0.86%，中学校5.08%
令和3年度は，不登校児童生徒数は小学校0.86%，中学校5.08%であり，いずれも，目標を達成できなかったが，小学校1人，中学校3人については，改善の傾向がみられた。また，今年度の不登校児童生徒数のうち，新規に不登校となったのは，小学校4人，中学校9人である。	

4 改善策

- 来年度も，校長会，教頭・事務長会において，全児童生徒を対象とした「いじめアンケート」を定期的に行うよう指示し，結果を分析し，教育相談体制の充実が図られるように指導する。
- 不登校の傾向が見られた段階で，状況の把握を行うとともに，早期対応が組織的に行われるよう指導助言を行う。また，必要に応じて不登校支援に係る関係者会議を実施し，個に応じた支援策を協議するとともに，関係機関との連携を行う。（別紙の指標に基づき取組を評価）
- 生徒指導主事研修を年間2回開催し，不登校となった児童生徒への支援及び不登校の未然防止の観点に立った組織的な対応が行われるよう指導助言を行う。

令和3年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の体力向上を図る。
短期経営目標	運動習慣の確立に向けた取組を充実させる。

1 短期経営目標（具体）

運動習慣の確立に向けた取組を充実させる。

（目標値：令和3年度広島県児童生徒の体力・運動能力，運動習慣等調査 児童・生徒質問紙「運動やスポーツが好き」に対して，肯定的に答える児童生徒の割合 小中学校とも広島県の結果数値を上回る）

2 取組・方策

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための「緊急事態措置」の実施に伴う本市の対応について通知し，可能な限り感染症対策を行った上で実施できる体育の授業及び体力づくりの内容を各校で考えて実施した。
- 体育科の授業では，児童生徒が運動やスポーツが好きになるための指導を重視して取り組んだ。
- 令和3年度広島県児童生徒の体力・運動能力，運動習慣等調査に向けて，各校で取組を進めた。
- 広島県教育委員会豊かな心と身体育成課と連携を図り，体育科授業において，体力向上に係る指導が充実するよう取り組んだ。
 - ・江田島市小学校教育研究会体育部会 授業研究実施
令和3年10月14日（木）・・・江田島市立大古小学校
 - ・江田島市中学校教育研究会体育部会 授業研究実施
令和3年10月7日（木）・・・江田島市立江田島中学校
令和3年12月13日（月）・・・江田島市立大柿中学校
- 市教委計画訪問において，児童生徒の食生活が充実するよう，学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行った。
 - ・江田島学校給食共同調理場 訪問（7月16日）
 - ・西能美学校給食共同調理場 訪問（7月16日）

3 評価

評価指標	令和3年度広島県児童生徒の体力・運動能力，運動習慣等調査 児童生徒質問紙「運動やスポーツが好き」に対して，肯定的に答える児童生徒の割合
実績値（令和2年度）	コロナ禍における臨時休業等の影響で，体力・運動能力調査が実施されなかったため，評価できなかった。
目標値（令和3年度）	「運動やスポーツが好き」に対して，肯定的に答える児童生徒の割合 小中学校とも広島県の結果数値を上回る
総合評価	令和3年度広島県児童生徒の体力・運動能力，運動習慣等調査における江田島市及び広島県の結果は（小学校）男子96.1%〔94.1%〕，女子96.6%〔87.1%〕（中学校）男子93.4%〔89.6%〕，女子88.5%〔82.0%〕であった。 令和3年度広島県児童生徒の体力・運動能力，運動習慣等調査 児童・生徒質問紙で「運動やスポーツが好き」に対して，肯定的に答える児童生徒の割合が，広島県の結果数値を小学校男子は2.0%，女子は9.5%，中学校男子は3.8%，女子は6.5%上回った。

4 改善策

- 小学校においては「体力のあゆみ」等を効果的に活用し，中学校においては，委員会活動を通じた生徒主体の体力づくりの取組を進める等，個の目標に向けて体力づくりを継続的に進めるよう，意欲と基礎体力向上のための指導を充実させる。
- 今後も，広島県教育委員会豊かな心と身体育成課と連携を図り，体育科授業において，体力向上に係る指導が充実するよう取組を行う。
- 引き続き，児童生徒の食生活が充実するよう，学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。

令和3年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	魅力ある事業づくりを推進する。
短期経営目標	実施事業に対する満足感の向上を図る。

1 短期経営目標（具体）

実施事業に対する満足感の向上を図る。（目標値：とても満足した来場者割合 50%）
--

2 取組・方策

<p>○ 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高めることを目的に、事業を計画・実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市美術展：市文化協会と連携し、作品展示だけでなくミニコンサートやワークショップを開催した。（11/3～6, 来場者 1,454 人） ・ ふれあいコンサート：マイ・ハート弦楽四重奏団ひろしま in 江田島市と題して、有料でコンサートを開催した。（11/14, 来場者 230 人） ・ 生涯学習講演会：江田島図書館 30 周年記念講演会（講師：林真理子）と合同開催とすることで、内容を充実させた。（11/28, 来場者 253 人） ・ 人権学習講演会：若年層の関心を高めるべく PTA 連合会と連携して準備を進めていたが、コロナ禍の影響で中止となった。 <p>○ 関係者と運営に係る調整を行い、円滑な運営に努めた。</p> <p>○ 市広報や SNS の他、関係団体や他部署とも連携し、積極的に PR を行った。</p>
--

3 評価

評価指標	とても満足した来場者割合
実績値（令和2年度）	とても満足した来場者割合 48%
目標値（令和3年度）	とても満足した来場者割合 50%
総合評価	52%
<p>○ 目標を達成した。※対象事業を全て実施できてはいない （市美展 55%, ふれあいコンサート 62%, 生涯学習講演会 40%） ※人権学習講演会中止</p>	

4 改善策

<p>○ 状況に応じて会場を設定し、来場者にとって充実したものとなるよう、運営方法の工夫などに取り組む。</p> <p>○ マスコミなどにも働きかけて、PR の強化を図る。</p>
--

令和3年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	健康づくり，体力づくりを推進する。
短期経営目標	公共スポーツ施設の利用促進を図る。

1 短期経営目標（具体）

公共スポーツ施設の利用促進を図る。

（目標値：スポーツセンター利用者 24,000 人，総合運動公園利用者 13,000 人）

2 取組・方策

- スポーツ推進委員や関係団体等と連携し，市民スポーツ大会を開催した。
（11/28，参加者 60 名）
- コロナ禍における運動不足の解消，健康・体力維持対策及び健康寿命の延伸を目的とし，スポーツセンターにトレーニング機器を購入（更新）した。
- 利用者の感染防止対策として，スポーツセンターに空気清浄機（オゾン発生機能付）を設置し，安心して施設を利用できるよう配慮した。
- 市広報（9月，3月）において，施設利用や e スポーツクラブの活動等を紹介し，PR 強化に努めた。

3 評価

評価指標	スポーツセンター利用者，総合運動公園利用者
実績値（令和2年度）	スポーツセンター利用者 21,990 人，総合運動公園利用者 10,632 人
目標値（令和3年度）	スポーツセンター利用者 24,000 人，総合運動公園利用者 13,000 人
総合評価	スポーツセンター利用者 18,006 人，総合運動公園利用者 7,283 人

○達成率（スポーツセンター：75.0%，総合運動公園：56.0%）

○コロナ禍による施設の休館，休園やイベントの自粛等により，利用者が減少した。

【参考】

スポーツセンター：R2 80.2 人/日（21,990 人/274 日）⇒ R3 89.6 人/日（18,006 人/201 日）

総合運動公園：R2 38.6 人/日（10,632 人/275 日）⇒ R3 36.2 人/日（7,283 人/201 日）

4 改善策

- 利用者が安心・安全に施設を利用できるよう，感染拡大防止対策を講じた取組を継続する。
- 体育協会，e スポーツクラブ，スポーツ少年団のPR をし，団体への加入・参加を推進していく。

令和3年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	図書館の充実を図る。
短期経営目標	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。

（目標値：年間貸出冊数 76,000 冊，年間来館者数 33,000 人）

2 取組・方策

○事業実施

- ・ 2館2室合同の「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」を，期間を延長し実施した。
（7月6日～9月30日⇒7月6日～10月31日）
- ・ 小学校高学年を対象とした「子ども司書」養成講座を6月から開始し，図書館や学校で研修を行った。
- ・ テーマ展示を定期的に行い，図書の利用促進を図った。

○広報活動

- ・ 「読書貯金通帳」（大人・子ども用）及びHP「My本棚」等の活用を周知した。
- ・ 広報紙や，市内各所への配布・掲示により，図書館事業の積極的な周知に努めた。
- ・ 新規事業として対面朗読サービス実施について市広報紙等を活用しPRした。

ミニ図書館の実績（4月～3月）※月2回
※5/19,6月,9月,1月,2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。8/18は天候不順により中止。

場 所	利用人数	利用冊数
津久茂児童館	24	89
切串公民館	59	307
三高会館	58	228
本庁ロビー	38	126

3 評価

評価指標	
実績値（令和2年度）	年間貸出冊数 75,792 冊，年間来館者数 30,300 人
目標値（令和3年度）	年間貸出冊数 76,000 冊，年間来館者数 33,000 人
総合評価	貸出冊数 63,617 冊，来館者数 26,966 人
○達成率（貸出冊数 63,617 冊 83.7%），来館者数 26,966 人（81.7%）	
○コロナ禍による利用制限の影響もあり，目標を達成できなかった。	

4 改善策

- 様々な媒体を活用し，図書館事業のPR強化を図る。
- 予約サービスや窓口サービスの拡充について，PRを強化する。
- 除菌設備などを活用し，利用者が安心して利用できる環境づくりに取り組む。

令和3年度 点検評価票〔最終案〕

中期経営目標	さとうみ科学館の認知度を高める。
短期経営目標	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

さとうみ科学館の利用者の増加を図る。（目標値：来館者数 3,000人）

2 取組・方策

- 土日開館（月1回）を試験的に実施（実証実験）。
 - ・ 毎月第2週を開館日とした（臨時休館のため6月・9月・1月・2月は中止）
 - ・ 昨年度実施したワークショップ形式の来館事業（サイエンス工房）は無。
 - マスメディア、SNS等の活用により、PR強化を図る。
 - ・ テレビ（6回）や新聞（4回）等で観察会や江田島市の生物多様性について紹介。
 - ・ 広島県観光連盟情報サイト「#新しい非日常」による情報発信
- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、5月16日～6月20日、8月25日～9月30日、1月11日～2月20日まで臨時休館。自然観察会は5月・6月・8月・9月・1月・2月は中止。

来館者数（人）

月	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	市内	市外	合計	市内	市外	合計	市内	市外	合計
4月～3月	1,600	846	2,446	1,467	642	2,109	1,083	951	2,034

1日あたりの平均来館者数（人）

月	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	来館者数	開館日	平均	来館者数	開館日	平均	来館者数	開館日	平均
4月～3月	2,446	247	10	2,109	250	9	2,034	185	11

※平均：小数点以下繰り上げ

3 評価

評価指標	来館者数
実績値（令和2年度）	来館者数 2,109人
目標値（令和3年度）	来館者数 3,000人
総合評価	来館者数 2,034人

- 新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、来館者数 2,034人は、令和2年度実績（2,109人）及び令和元年度実績（2,446人）を下回っている。
- 事業参加者数（館外事業・入館事業含む）3,122人も、令和2年度実績（2,491人）はわずかに上回ったが、令和元年度実績（7,729人）を大きく下回っている。
- 開館日の平均来館者数（11人）は令和元年度実績（10人）をわずかに上回っている。

4 改善策

- 土日開館の実施方法の工夫や、館内で行う特別展の実施などにより、目標値に近づける。
- マスメディア、外部情報サイト、SNS等の活用によるPR活動は、今後も計画的に実施する。

3 外部評価委員の意見

外部評価委員名簿

	氏名	備考
委員長	田丸 正実	学校関係者 (元鹿川小学校校長)
副委員長	藤本 真砂子	社会教育関係者 (社会教育委員)
委員	渡辺 高久	市関係者 (元江田島市教育委員会教育次長)

(1) 信頼される学校づくりを推進する

「教職員による不祥事を0（ゼロ）にする」という目標に対して、市内の小中学校職員一人一人はこのことを深く受け止め、不祥事「ゼロ」を目指した取組により、ここ数年間不祥事は生起していない。教職員一人一人が不祥事に対する意識の高揚が図られているものと考えます。

教育委員会の指導助言によって不祥事の未然防止が図られたことは注目すべきである。また、計画的な研修や臨時の会議等を開催し、服務規律の徹底を図るよう各学校へ指導がなされたことを高く評価したい。

今後も不祥事「ゼロ」が継続されることを期待し、各学校への更なる指導助言をお願いしたい。

(2) 児童生徒の学力の向上を図る

一昨年からは、市独自で学力状況調査を実施し、分析した結果を基に学力向上へ向けた取組が各学校で実施されていた。昨年度より平均正答率が高くなっていることが伺える。市内の校長会や教務主任会で改善計画について協議・検討が行われた。その結果を授業改善に活かし、児童生徒一人一人にきめ細かな指導につながったことを評価したい。コロナ禍で全国学力学習状況調査が中止となっていたが、現在は実施している。市独自の学力状況調査と併せて分析結果を基に学力向

上へ向けた取組をお願いしたい。

今後は短期経営目標である「習得した知識・技能を活用する力」がどのように育成され、向上してきたかを検証することを望む。また、授業改善と家庭学習の両輪を充実させる新たな改善策に期待したい。

(3) 児童生徒の豊かな心を育成する

「不登校児童生徒への取組を充実させる」ために、教育委員会は不登校児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数が長期化している学校へは実態に応じて、不登校支援に係る事業を展開している。また、外部講師を招聘し、不登校児童生徒への適切な対応の在り方について研修を行っている。こうした中、改善している児童生徒もいるが、さらに増えていくことを期待している。

各学校においても、個々の家庭と連携しながら取り組まれている。担任が抱え込むのではなく、生徒指導主事を中心とした組織的な体制で臨んでほしい。状況によっては、関係機関との連携も必要である。不登校児童生徒が減少していくよう人的措置などの配慮をお願いしたい。

(4) 児童生徒の体力の向上を図る

コロナ禍の影響で十分な活動ができなくなっているが、感染症対策を十分行い、実施できる体育の授業や体力づくりの内容を各学校で計画し、実施したことは体力向上へ向けた取組として評価したい。県の児童生徒の運動習慣等の調査「運動やスポーツが好き」と答えた児童生徒の割合が県の数値を上回る結果となっている。体育委員会の企画・イベントの開催、縄跳びの奨励などにより、児童生徒の運動に対する関心も高まっている。今後も「運動やスポーツが好き」な児童生徒が増えていくことを期待したい。

学校給食共同調理場では地元の食材を計画的に利用している。物価上昇で苦慮されているのではないかと推察する。食育が更に充実するようお願いしたい。

(5) 魅力ある事業づくりを推進する

4事業については、「実施事業に対する満足感の向上を図る」ことを目標に取り組みましたが、コロナ禍の影響で1事業は開催することができなかった。3事業については、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて開催したことは、教育委員会事務局の尽力があったと推測され、評価したい。

参加された方々からの満足感の割合も高まってきている。今後も継続した事業に注目したい。1事業（人権学習講演会）については、PTAとの連携を図りながら実現できるようお願いをしたい。

(6) 健康づくり，体力づくりを推進する

トレーニング機器，空気清浄機などの施設設備の充実を図られ，安心して利用できるようになったことは喜ばしいことである。コロナ禍による休館や休園で利用者は減っているが，感染予防対策を継続し，利用者が更に増えるための方策や気軽に集える場になるようお願いをしたい。市広報へのスポーツ団体の活動を紹介した記事は市民にとって大変参考になる内容であったように思う。興味感心を持ち，利用者が増えることを期待したい。

(7) 図書館の充実を図る

コロナ禍の影響で休館したことや大柿市民センターの新築により図書室の利用ができなくなったことなど，貸出冊数が減少した要因の一つと考えられる。小学校高学年を対象とした「子ども司書」養成講座に多くの児童が参加したことは評価したい。さらに，新規事業として対面朗読サービスの実施に向けて，積極的にPR活動が展開されていた。

コロナ禍で安心して利用できるよう対策は講じられているが，更なる環境づくりに配慮し，気軽に利用されることはもとより，コミュニティの場としても活用できるようお願いしたい。

(8) さとうみ科学館の認知度を高める

テレビや新聞などを通じて、さとうみ科学館実施事業の紹介を積極的に発信したことにより、市外からの来場者も増えたことにつながったと考えられる。また、来館者を増やすために土日開館（月1回）を試験的に実施する計画であったが、コロナ禍の影響で十分な成果を挙げることはできなかった。今後も継続した実施をお願いしたい。

マスメディアなどの活用によって、さとうみ科学館の利用者の増加や認知度が高まるための取組が十分になされていることを評価したい。これからも土日開館の実施方法の工夫や特別展の実施などを通して、認知度を更に高めるための魅力ある事業に期待したい。

4 総合評価

今回、短期経営目標に基づく8事業に対して意見を付した。

令和2年から8事業が全て継続された事業になっている。教育委員会が重点的に取り組まれている施策が確実に展開されていたことを高く評価したい。

新型コロナウイルスの感染症対策の影響で、施設の臨時休館など当初の計画を変更するに至った事業もあるが、安心して利用しやすい環境づくりや最善の対策を講じながら、各事業を推進した教育委員会事務局職員に敬意を表したい。

各学校では「学びの変革」へ向けた理論研修や教育実践が継続されている状況である。学びの視点に基づいて授業改善が図られるよう各学校への指導助言をお願いしたい。さらに、コロナ禍の終息が見通せない中、児童生徒への「学びの保障」へ向けた実践をお願いしたい。そのための施設設備・人的措置などの配慮や予算化することも考えてほしい。

今後、各事業の改善計画が確実に展開されることを期待している。数値目標の設定・結果のみでなく、機会があればその過程・経緯を話題にする場を設定することも必要だと思う。教育委員会の先進的な取組を各部署へ発信することを推奨したい。

今後のさらなる発展・充実を期待する。

5 その他

(1) 教育委員会の活動状況

ア 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
教育長	小野藤 訓	男	元教育関係者
教育長職務代理者	三島 雅司	男	元行政関係者
委員	樋上 美由紀	女	元教育関係者
委員	小宇根 康典	男	元教育関係者
委員	泊野 仁美	女	保護者

イ 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回, 臨時会 2回

そのうち 6月21日(月) 能美中学校訪問

11月15日(月) 江田島学校給食共同調理場, 西能美学校給食共同調理場訪問

ウ 教育委員会会議の議決事項

番号	期日	種別	件名
1	4月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市学校給食共同調理場における給食費徴収の特例に関する要綱の一部を改正する要綱案 学校評議員の委嘱 令和3年度江田島市教育委員会経営計画及び自己評価表 江田島市教育支援委員会委員の委嘱 江田島市社会教育委員の委嘱 大柿自然環境体験学習交流館運営委員会委員の委嘱 社会教育指導員の任命 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
2	5月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に市立学校で使用する教科用図書の採択基本方針案 江田島市学校給食共同調理場運営委員会の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
3	6月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立小中学校職員服務規程の一部を改正する訓令案 江田島市教育委員会事務点検・評価報告書(令和2年度事業対象)案 令和3年度江田島市一般会計補正予算(3号)(教育委員会関係分) 江田島市教科用図書採択地区中学校選定委員会委員及び調査員の委嘱 江田島市学校給食共同調理場運営委員会の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
4	7月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育支援委員会委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
5	7月27日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> 教育長報告

6	8月23日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に市立中学校で使用する教科用図書の採択 ・令和4年度に小・中学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択 ・令和3年度江田島市一般会計補正予算（第4号）（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
7	9月22日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
8	10月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者叙勲候補者（教育功労）の推薦 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
9	11月15日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市立学校施設使用条例の一部を改正する条例案 ・江田島市教職員住宅管理規則等の一部を改正する規則案 ・江田島市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の実施のために必要な手続書類の様式及び江田島市学校給食共同調理場における給食費徴収の特例に関する要綱の一部を改正する告示案 ・江田島市立小中学校職員服務規程及び自家用車の公務使用に関する取扱要領の一部を改正する訓令案 ・令和3年度江田島市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
10	12月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市立小中学校職員服務規程の一部を改正する訓令案 ・令和3年度江田島市一般会計補正予算（第6号）（教育委員会関係分） ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
11	1月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免 ・教育委員会の委員の辞職につき同意を求めることについて
12	2月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市立小・中学校児童生徒通学費交付要綱の一部を改正する訓令案 ・令和3年度江田島市一般会計補正予算（第10号）（教育委員会関係分） ・令和4年度江田島市一般会計予算（教育委員会関係分） ・江田島市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
13	3月15日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
14	3月22日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市教育委員会の事務局の組織に関する規則等の一部を改正する規則案 ・江田島市人権教育推進会議設置要綱の一部を改正する告示案 ・江田島市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する訓令案 ・江田島市教育委員会の職員の任免

(2) 教育長及び教育委員の活動

ア 研修会等への出席

期日	件名	場所	出席者
4月15日	第1回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
4月27日	広島県都市教育長会春の総会	Web会議	教育長
7月15日	第13回中国地区市町村教育委員会連合会研修大会	Web会議	教育長 委員3名
8月27日	第2回広島県市町教育長会議	Web会議	教育長
9月2日	市町村教育委員会オンライン協議会	Web会議	教育長 委員1名
10月12・13日	市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）	松山市	中止
10月26日	広島県都市教育長会秋の総会	Web会議	教育長
11月15日	総合教育会議	江田島市	教育長 委員4名
12月22日	臨時広島県市町教育長会議	Web会議	教育長

イ 式典への出席

小中学校入学式における教育委員会告辞（新型コロナウイルス感染症対策のため欠席）

ウ その他

各委員による学校行事をはじめ教育委員会所管施設の各種行事への参加、各種委員としての参加

令和3年度江田島市教育委員会経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と社会教育施設の整備・充実に努める。

さらに、里海教育では、自然体験活動や探究活動など、自然に親しみ、自然に学ぶ場や機会の整備・充実に努める。

これらの理念を合わせることで、相乗効果を生み、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○生涯を生き抜く力である「知（確かな学力）」「徳（豊かな心）」「体（健やかな体）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。また、生命を尊び、自然を大切にし、郷土を愛する豊かな心が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される安全・安心な学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○教職員の懲戒処分については、令和2年度も発生していない。

（平成30年度及び令和元年度も発生していない。）

○令和2年度江田島市小中学校学力調査の平均正答率については、小学校国語は全学年で全国平均正答率を下回ったが、算数は3学年が上回った。中学校は国語、数学とも、全学年（1・2学年）で全国平均正答率を下回った。

○生徒指導上の諸問題において、令和2年度不登校児童生徒の割合は、小学校 0.69%、中学校 3.33%である。

（令和元年度不登校児童生徒の割合 小学校 0.83%、中学校 1.81%）

○令和元年度体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合は、61.8%である。

【生涯学習】

○令和2年度の生涯学習講演会、人権学習講演会、市美術展の来場者について「とても満足した」の割合は、48%であった。（来場者アンケート）※実施事業は市美術展のみ

○スポーツセンターの令和2年度利用者数は21,990人、総合運動公園の利用者数は、10,632人である。

○図書館の令和2年度年間貸出数は75,792冊、来館者数は30,300人である。

（大柿図書室は令和2年度～4年度中休館のため含まない。）

【里海教育】

○さとうみ科学館の令和2年度来館者数は、2,109人である。

（館外事業・入館事業を含む総利用者数は、2,491人である。）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	信頼される学校づくりを推進する。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務研修の充実に向けて、各校が実施した服務研修の好事例を活用し、市主催研修において指導助言を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 学校における「働き方改革」及び開かれた学校づくりの推進(HPの充実等)に向けて、主催研修等において指導助言を行う。
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が組織的に推進されるよう、『学びの変革』推進協議会を活用し、指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査を活用し、改善計画に基づいた学力向上に係る取組が各校で組織的に行われるよう、教務主任研修等において指導助言を行う。 ○ 学校訪問や教科部会において学力向上に係る取組状況を把握し、実態に応じた指導助言を行う。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒への取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制が充実するよう指導助言を行う。 ○ 各校の不登校傾向の児童生徒の状況把握及び実態に応じた指導助言を行うとともに、不登校児童生徒の状況が改善するよう、再登校に向けた指導助言及びSSR等の環境整備を行う。 ○ 各校の道徳教育及び体験活動が充実するよう、「江田島市道徳教育推進協議会」を活用し、指導助言を行う。
	児童生徒の体力向上を図る。	運動習慣の確立に向けた取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育科授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修及び「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 業間運動及び部活動等において、運動習慣の確立に向けた取組が充実するよう指導助言を行う。 ○ 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。
生涯学習	魅力ある事業づくりを推進する。	実施事業に対する満足感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高める企画内容とする。 ○ 事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 ○ 学校や関係団体と連携を図ると共に、市広報やSNSだけでなく、他部署の広報媒体なども活用し、PRの強化を図る。
	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○ 体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○ HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「スタンプラリー」「読書貯金通帳」の活用や、参加型講座、読み聞かせ等の実施により、自主的な読書活動を促す。 ○ 「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 窓口拡大サービスや、施設利用に関するチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、PRの強化に努める。
里海教育	さとうみ科学館の認知度を高める。	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土日開館(毎月1回)を試験的に実施する(実証実験)。 ○ 観察会・研修会や館内見学の実施方法を工夫することで、事業への参加や来館しやすい環境づくりを行う。 ○ 広報紙、SNS等の活用により、PR強化を図る。

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値			目標値			評価 (自己評価の結果)	改善策																							
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																									
学校教育	信頼される学校づくりを推進する。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務研修の充実に向けて、各校が実施した服務研修の好事例を活用し、市主催研修において指導助言を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 学校における「働き方改革」及び開かれた学校づくりの推進(HPの充実等)に向けて、主催研修等において指導助言を行う。 	懲戒処分件数	0件	0件	0件	0件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭・事務長会において、外部講師を招聘する等「服務規律の確保」に関して講話を行うとともに、教育課程の確実な実施に向けた各校の取組状況を把握し、必要に応じて学校訪問指導を行う。 																									
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が組織的に推進されるよう、『学びの変革』推進協議会を活用し、指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査を活用し、改善計画に基づいた学力向上に係る取組が各校で組織的に行われるよう、教務主任研修等において指導助言を行う。 ○ 学校訪問や教科部会において学力向上に係る取組状況を把握し、各校の実態に応じた指導助言を行う。 	江田島市小中学校学力調査(標準学力調査)の平均正答率(全国値との比較)	平均正答率が全国平均値を上回った学年の数 小・国語(0) 小・算数(3) 中・国語(0) 中・数学(0)	平均正答率が全国平均値を上回った学年の数 小・国語(4) 小・算数(5) 中・国語(1) 中・数学(1)	平均正答率が全国平均値を上回った学年の数 小・国語(5) 小・算数(5) 中・国語(2) 中・数学(1)	平均正答率が全国平均値を上回った学年の数 小・国語(2) 小・算数(4) 中・国語(1) 中・数学(0)	<ul style="list-style-type: none"> ・教務主任研修等において、授業改善に係る研修を計画し、外部講師を招聘する等、基礎学力向上に係る講話・演習・協議を実施することで、基礎学力向上に向けた取組を組織的に行うよう指導する。 ・家庭での学習習慣の確立に向けて、自己教育力を育成する家庭学習の取組を進め、指導助言を行う。 																										
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒への取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制が充実するよう指導助言を行う。 ○ 各校の不登校傾向の児童生徒の状況把握及び実態に応じた指導助言を行うとともに、不登校児童生徒の状況が改善するよう、再登校に向けた指導助言及びSSR等の環境整備を行う。 ○ 各校の道徳教育及び体験活動が充実するよう、「江田島市道徳教育推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 	不登校児童生徒の割合	小:0.69% 中:3.33%	小:0.42% 中:1.28%	小:0.42% 中:2.54%	小:0.86% 中:5.08%	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等の問題行動に対する指導体制や不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら継続的な支援を行い、欠席率等の改善に向け、各校の実態に応じた指導助言を行う。 ・生徒指導主事研修において、不登校の未然防止に向けた組織的な取組が行われるよう指導助言を行う。 																										
	児童生徒の体力向上を図る。	運動習慣の確立に向けた取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育科授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修及び「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 業間運動及び部活動等において、運動習慣の確立に向けた取組が充実するよう指導助言を行う。 ○ 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。 	「運動やスポーツが好き」に対して、肯定的に答える児童生徒の割合	令和元年度広島県(%) <table border="1"> <tr><td></td><td>男子</td><td>女子</td></tr> <tr><td>小5</td><td>90.3</td><td>88.7</td></tr> <tr><td>中2</td><td>90.1</td><td>80.8</td></tr> </table>		男子	女子	小5	90.3	88.7	中2	90.1	80.8	令和3年度広島県(%) <table border="1"> <tr><td></td><td>男子</td><td>女子</td></tr> <tr><td>小5</td><td>94.1</td><td>87.1</td></tr> <tr><td>中2</td><td>89.6</td><td>82.0</td></tr> </table>		男子	女子	小5	94.1	87.1	中2	89.6	82.0	「運動やスポーツが好き」に対して、「好き」と答える児童生徒の割合 小男:85%、小女:65% 中男:60%、中女:50%	令和3年度江田島市(%) <table border="1"> <tr><td></td><td>男子</td><td>女子</td></tr> <tr><td>小5</td><td>96.1</td><td>96.6</td></tr> <tr><td>中2</td><td>93.4</td><td>88.5</td></tr> </table>		男子	女子	小5	96.1	96.6	中2	93.4	88.5
	男子	女子																																	
小5	90.3	88.7																																	
中2	90.1	80.8																																	
	男子	女子																																	
小5	94.1	87.1																																	
中2	89.6	82.0																																	
	男子	女子																																	
小5	96.1	96.6																																	
中2	93.4	88.5																																	
生涯学習	魅力ある事業づくりを推進する。	実施事業に対する満足感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高める企画内容とする。 ○ 事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 ○ 学校や関係団体と連携を図ると共に、市広報やSNSだけでなく、他部署の広報媒体なども活用し、PRの強化を図る。 	とても満足した来場者割合(生涯学習講演会・人権学習講演会・市美術展・ふれあいコンサートの平均値)	48%	50%	55%	52%	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて会場を設定し、来場者にとって充実したものとなるよう、運営方法の工夫などに取り組む。 ・マスコミなどにも働きかけて、PRの強化を図る。 																										
	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○ 体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○ HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。 	スポーツセンター利用者 総合運動公園利用者	21,990人 10,632人	24,000人 13,000人	24,000人 13,000人	18,006人 7,283人	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心・安全に施設を利用できるよう、感染拡大防止対策を講じた取り組みを継続する。 ・体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団のPRをし、団体への加入・参加を推進していく。 																										
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「スタンプラリー」「読書貯金通帳」の活用や、参加型講座、読み聞かせ等の実施により、自主的な読書活動を促す。 ○ 「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 窓口拡大サービスや、施設利用に関するチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、PRの強化に努める。 	年間貸出冊数 年間来館者数 ※大瀬図書館は計画期間中休館のため含まない	75,792冊 30,300人	76,000冊 33,000人	76,000冊 33,000人	63,617冊 26,966人	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体を活用し、図書館事業のPR強化を図る。 ・予約サービスや窓口サービスの拡充について、PRを強化する。 ・除菌設備などを活用し、利用者が安心して利用できる環境づくりに取り組む。 																										
里海教育	さとうみ科学館の認知度を高める。	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土日開館(毎月1回)を試験的に実施する(実証実験)。 ○ 観察会・研修会や館内見学の実施方法を工夫することで、事業への参加や来館しやすい環境づくりを行う。 ○ 広報紙、SNS等の活用により、PR強化を図る。 	来館者数(教育事業・一般来館含む)	来館者数 2,109人	来館者数 3,000人	来館者数 3,000人	来館者数 R3:2,034人(同時期実績) R2:2,109人 R1:2,446人	<ul style="list-style-type: none"> ・土日開館の実施方法の工夫や、館内で行う特別展の実施などにより、目標値に近づける。 ・マスメディア、SNS等の活用により、PRの強化を図る。 																										